

|                    |   |
|--------------------|---|
| 科目名称               | 看護管理論   |
| 授業コード              | BK410   |
| 英語名称               | Nursing Administration  |
| 学期                 | 2024年度前期  |
| 単位                 | 1.0   |
| 担当教員               | 大森 美保, 山田 正己, 木所 篤子   |
| 記入不要<br>ナンバリングコード  |   |
| 授業の概要              | 医療チームメンバーの一員として、質の高い看護を効果的に提供していくためのマネジメントスキルを学ぶ。そして、組織の一員として、いかに人を大切にし、患者中心の看護活動をするかを学ぶ。<br>また、学生が自分自身のキャリア形成を考えるとともに、看護専門職としての自律について学ぶ。   |
| 科目に関連する実務経験と授業への活用 | 病院で看護師長として実務経験のある教員、認定看護管理者として実務経験のある教員、病院で実務を行う看護部長が、専門職者としての組織論やマネジメント・将来の看護職者としての自己管理などについて講義を行う。  |
| 到達目標               | この科目は、専門科目の「看護の発展」の科目の一つである。<br>ディプロマポリシーに掲げる「科学的な根拠に基づき、対象者の健康と生活の質を高める看護を実践するための論理的思考力、基本的な問題解決能力を修得している」「対象者に最善の支援ができるように、保健医療福祉システムの中で人々と協働する能力を有している」ことが実現できるよう、カリキュラムポリシーに掲げる「看護学としての専門知識・技術を学び、論理的思考を修得するため、看護の基本、看護援助の方法、看護の実践、看護の発展科目を配置する」「地域包括ケアシステムの要として多職種や地域住民と連携・協働できる能力を培うための科目を配置する」方針のもと、以下を目標としている。<br>1. 看護管理と看護管理者の役割を理解する<br>2. 組織とは何かを知り、保健医療福祉サービスを提供する組織の特徴について理解する<br>3. 保健医療福祉制度と看護管理との関連を理解する<br>4. 保険医療福祉サービスを提供する他職種や施設間との連携と看護の役割について理解する<br>5. キャリア形成について考え、専門職として自律するために必要なことを理解する |
| 計画・内容              | 第1回：授業ガイダンス・看護サービスと看護管理（大森：看護師）<br>・看護管理学の定義<br>・看護管理プロセスとPDCAサイクル<br><br>第2回：組織と人材育成（山田：看護師）<br>・組織とは<br>・看護管理者の役割<br>・人材育成<br><br>第3回：看護の質保証と看護における診療報酬（大森：看護師）<br>・医療保険制度と看護における診療報酬<br>・看護必要度<br>・質保証とリスク管理<br><br>第4回：看護提供方式（大森：看護師）<br>・看護提供方式の種類と特徴<br>・リーダーシップとメンバーシップとは  |

|                                    |  |
|------------------------------------|--|
| 計画・内容                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護チームにおける連携</li> </ul> <p>第5回：病院施設における看護管理の実際（木所：看護部長）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域社会における病院の役割、機能</li> <li>・病院の理念、組織図と看護部の位置づけ、看護部の目標</li> <li>・病院経営と看護部との関わり</li> <li>・人材育成（新人教育、クリニカルリーダー、認定・専門・特定行為看護師の育成等）</li> </ul> <p>第6回：組織内連携：チーム医療における多職種連携と看護の役割（大森：看護師）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門ケアチームにおける看護の役割</li> <li>・クリニカルパスの活用</li> </ul> <p>第7回：組織間連携と継続看護（山田：看護師）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケアシステムでの連携と協働</li> <li>・医療介護制度と政策決定過程</li> </ul> <p>第8回：キャリア形成（大森：看護師）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新人看護職員の支援とクリニカルリーダー</li> <li>・専門職としての自律</li> </ul> |
| 授業の進め方                             | <p>&lt;授業の進め方&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.教科書・資料を基に、パワーポイントを使用した授業を行う。</li> <li>2.実習等による自身の体験の振り返りと講義内容の統合や、各単元の内容について深く考えまとめる。</li> </ol>  |
| 能動的な学びの実施                          | <p>学生への質問を活発に行う予定なので、積極的な授業態度が期待される。</p>   |
| 授業時間外の学修                           | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 予習：提示された事前学習をまとめてくること（毎回1時間程度）。</li> <li>2. 復習：授業の内容を整理し、提示された課題に取り組み提出すること（毎回1時間程度）。</li> </ol>   |
| 教科書・参考書                            | <p>教科書</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 手島恵、藤本幸三：看護管理学、自律し協働する専門職の看護マネジメントスキル、南江堂教科書は持参すること。</li> </ol> <p>参考書</p> <p>茂野香おる他：看護学概論 基礎看護学 医学書院</p>   |
| 成績評価方法と基準                          | <p>3名の教員による課題レポート（70%）と小テスト（30%）を総合し評価する。</p>  |
| 課題等に対するフィードバック                     | <p>リアクションペーパーに記載された疑問などは、次回の授業内でコメントする。</p>  |
| オフィスアワー                            | <p>Campus Squareを参照</p>  |
| 留意事項                               | <p>課題レポートは、忘れずに提出してください。</p> <p>今までの基礎看護実習 や基盤実習、領域別実習、授業を踏まえ、マネジメントについて自分の考えを持って授業に臨んでください。</p> <p>20分以上の遅刻は、1回（1コマ）の欠席とする。</p> <p>20分未満の遅刻は、2回で1欠席とする。</p>   |
| 非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」 | <p>授業の進め方</p> <p>ZOOMによるオンライン授業と課題学修を組み合わせる。</p> <p>成績評価方法と基準</p> <p>課題レポート（70%）、小テスト（30%）を総合し評価する。</p>  |